1359	72	題号不明	小川原嘘帥	言語	鵙啼くや夜明の如き窯の奥	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	395	￥46	￥1	￥1	秋
1389	74	題号不明	小池文子	言語	仏蘭西の野分さへ師の形見にて	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	118	￥46	￥1	￥1	秋
1390	74	題号不明	小池文子	言語	夕野分祈るかたちの木を残す	2008	『俳句歳時記　第四版』	507	￥46	￥1	￥1	秋
1391	74	題号不明	小池文子	言語	胡桃焼く夫が便りの木靴の絵	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	486	￥46	￥1	￥1	秋
1392	74	題号不明	小池文子	言語	火焔菜しづかに巴里の夜ひらく	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	587	￥46	￥1	￥1	秋
1402	75	題号不明	小島花枝	言語	畠のものみな丈低し十三夜	2008	『俳句歳時記　第四版』	503	￥46	￥1	￥1	秋
1410	76	題号不明	庄司圭吾	言語	山梔子の実のつややかに妻の空	2008	『俳句歳時記　第四版』	601	￥46	￥1	￥1	秋
1416	77	題号不明	庄中健吉	言語	爽やかやパセリセロリと嚙み分けて	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	52	￥46	￥1	￥1	秋
1417	77	題号不明	庄中健吉	言語	大原女の三人行きて冬隣	2008	『俳句歳時記　第四版』	494	￥46	￥1	￥1	秋
1444	78	題号不明	菖蒲あや	言語	かくし貼る膏薬にほふ夜の秋	2017	『昭和俳句作品年表(戦後篇)』	289	￥46	￥1	￥1	秋
1445	78	題号不明	菖蒲あや	言語	草市のはづれの暗き水たまり	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	188	￥46	￥1	￥1	秋
1446	78	題号不明	菖蒲あや	言語	灯が洩れて秋の簾となりにけり	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	232	￥46	￥1	￥1	秋
1447	78	題号不明	菖蒲あや	言語	これよりはみちのくに入る威し銃	2008	『俳句歳時記　第四版』	532	￥46	￥1	￥1	秋
1448	78	題号不明	菖蒲あや	言語	風の盆男踊りの黒づくめ	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	287	￥46	￥1	￥1	秋
1449	78	題号不明	菖蒲あや	言語	朝の髪一つに束ね終戦日	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	168	￥46	￥1	￥1	秋
1450	78	題号不明	菖蒲あや	言語	花街の昼湯が開いて生姜市	2008	『俳句歳時記　第四版』	558	￥46	￥1	￥1	秋
1451	78	題号不明	菖蒲あや	言語	虫の夜の手足寝かせて耳覚むる	1998	「現代秀句選集」	250	￥46	￥1	￥1	秋
1452	78	題号不明	菖蒲あや	言語	奥美濃や心底赤き木守柿	2022	『新版　角川俳句大歳時記　秋』	545	￥46	￥1	￥1	秋
1453	78	題号不明	菖蒲あや	言語	紅葉かつ散りぬ自在に水走り	2008	『俳句歳時記　第四版』	611	￥46	￥1	￥1	秋
1454	78	題号不明	菖蒲あや	言語	朝顔も終りし路地の雨さみし	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	553	￥46	￥1	￥1	秋
1455	78	題号不明	菖蒲あや	言語	おしろいが咲いて子供が育つ路地	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	559	￥46	￥1	￥1	秋
1456	78	題号不明	菖蒲あや	言語	貧しさもひとりにも馴れ鳳仙花	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	561	￥46	￥1	￥1	秋
1485	79	題号不明	上﨑暮潮	言語	国生みの島へ流星矢継ぎ早	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	109	￥46	￥1	￥1	秋
1486	79	題号不明	上﨑暮潮	言語	夕立の上るを待たず阿波踊	2008	『俳句歳時記　第四版』	555	￥46	￥1	￥1	秋
1487	79	題号不明	上﨑暮潮	言語	飛入りを促す囃子阿波踊	2007	「平成秀句選集」	109	￥46	￥1	￥1	秋
1488	79	題号不明	上﨑暮潮	言語	この葎ことに暗しや轡虫	2008	『俳句歳時記　第四版』	594	￥46	￥1	￥1	秋
1489	79	題号不明	上﨑暮潮	言語	野に落つる日の大きさよ藍の花	2008	『俳句歳時記　第四版』	645	￥46	￥1	￥1	秋
1502	80	題号不明	新田祐久	言語	窯たいて残暑のまなこくぼみけり	2008	『俳句歳時記　第四版』	482	￥46	￥1	￥1	秋